

克己心身を練れ
勤勉実力を養え
至誠事に当れ

第 197 号 令和 7 年 12 月 23 日 (火) 静岡県立富士高等学校 静岡県富士市松本 17 番地
<http://www.edu.pref.shizuoka.jp/fuji-h/home.nsf> 電話 (0545) 61-0100

全国高等学校 PTA 連合会大会 2025 三重大会

富士高 PTA 会長 小池義治



令和 7 年 8 月 21・22 日、三重県津市を会場に全国から約 6,000 人が集まり、「全国高等学校 PTA 連合会大会 2025 三重大会」が開催され、草谷校長と共に参加しました。大会テーマは「出会いはじまる常若のくに」。伊勢神宮は二千年余の歴史を有しますが、20 年に 1 度の式年遷宮を続けてきたことで、常に若くある「常若（とこわか）」の象徴とされているそうです。

P 連大会には、はじめて参加しましたが、規模の大きさに驚きました。会場最寄り駅の津駅から参加者で溢れており、会場の日硝ハイウエアーリーナも、6000 人の参加者で満席でした。全国から保護者・教職員が集い、互いの取組を共有する場の熱量を改めて実感しました。



分科会では第 3 科会に参加し、アソビジョン（株）代表取締役・國友尚氏による「AI 時代における Well-being なキャリアデザイン」と題した講演を拝聴しました。

「AI」と「Well-being」、どちらも、現代社会でとても重要なキーワードであると感じ、参加しました。Well-being とは、単なる「幸せ」ではなく、心身の健康、社会とのつながり、生きがいと成長など、人生のより良い状態が継続していることを指します。

講演中には、参加者全員で簡易的に自身の Well-being（幸福度）を測るワークも実施され、私と校長先生はいずれも「やや高め」という結果に。会場が和やかに盛り上がるひと幕でもありました。学校教育や PTA 活動においても、この Well-being という視点を評価軸に据えることで、これからの教育の質をより高めていけるのではないかと感じました。

國友氏はさらに、日本の高校生が「自分は大人だ」と思う割合や、自分の将来に夢や希望を持っている割合が、他国に比べ低いという国際比較調査の結果を示されました。

これから AI が社会のあらゆる分野に浸透する中で、生徒一人ひとりが自らの強みを知り、それを活かす経験を積み重ねることこそが、キャリア形成の核心となると感じました。



人にはそれぞれ「感動パターン」、つまり「何に心が動くか」という固有の傾向があり、そのパターンを自覚し、好奇心が向かう方向に努力を続けることが、VUCA（先行き不透明）な時代においても自身の価値を発揮する鍵になると語られました。また、AI を単なる脅威ではなく、人の可能性を広げる道具として活用することの重要性も示されました。

いまの高校生が社会へ羽ばたくころには、AI の発展が社会を大きく変えて、現在とはまったく違う世界が広がっているかもしれません。そうした未来を生き抜くためにも、自分を深く理解し、「これが自分の喜びだ」と胸を張って言える軸を持てるよう、学校と家庭がともに支える必要性を痛感しました。

今回の大会を通じて、PTA 活動の果たす役割と可能性を改めて認識するとともに、今後の教育に求められる新しい視点を多く学ぶことができました。得られた気づきを、本校の活動にも活かしていければと考えています。

令和7年度『PTA 進路講演会』のご報告

富士高 PTA 吉原支部 広報担当 小林友麻

令和7年9月4日（木）に富士ロゼシアターにて、PTA 進路講演会が開催されました。

第一部では、富士高校ご出身で国際政治学者としてご活躍中の一橋大学大学院教授、秋山信将様に「これからの国際社会を生き抜く若者たちへ」と題してご講演いただきました。国際社会の現実を知り、変化の激しい社会を生き抜く力の必要性、そしてそのためには自らの殻を破り新たな挑戦を恐れない姿勢が重要であることを話してくださいました。

講演後のアンケートでは、「興味深く、視野を広げる内容でよかった」「失敗できる環境を与える大切さに気づかせられた」「子供たちにも聞かせたい内容だった」など、多くの前向きな感想をいただき、挑戦する力や学びの姿勢について考えさせられる有意義な講演でした。



第二部では、富士高校進路課長の石川貴子先生に「今から考えるわが子の進路」と題してご講演いただきました。富士高校の強みや進路実現に向けた具体的な取り組み、そして大学入試の最新情報など丁寧にお話しいただきました。また、受験は団体戦であり、一人一人の努力が仲間の成長を促し良い循環を生み出すこと、家庭での精神的な支えや温かく見守る姿勢の大切さ、そして学校と家庭が連携しながら進路を支えていくことについてもお話しくださいました。

講演後のアンケートでは、「最新の入試情報や学年ごとの目標がわかりやすかった」「子供への寄り添い方や親としての心構えが参考になった」「進路の道標を活用していきたい」など、多くの貴重なご意見や感想をいただきました。

今回の進路講演会が、保護者の皆様にとって日々の子育てやお子様の進路を考える上で少しでもお役立ていただけたら幸いです。

ご講演いただきました秋山信将様、石川先生、及びご参加くださいました皆様に心より感謝申し上げます。





茶話会改め和茶和茶会

富士高 PTA 富士宮支部 和茶和茶会担当 河村徳之



受験や学校生活に対する疑問や不安を解決し、保護者同士の面識を増やし連携を強める場として、富士宮支部ではこの茶話会という行事を支部の中心事業として長く続けてきています。今年は、特に保護者同士の交流を深め、楽しみながら仲間作りをしてもらいたいという私たち役員の願いを表すため、名称を茶話会から「和茶和茶会」に改め再スタートすることにしました。

10月11日(土)、会場の浅間大社参集所に総勢65名の参加者を得て、賑やかに開会しました。まず第一部として栗原先生に講話をいただき、その後二部に分けて会員同士のざっくばらんな話し合いとなります。

栗原先生のお話は、富士高として子供たちの入学から受験を迎えるまでの間どのような方針で導いて行くのかというテーマでお願いしましたが、子供たちに寄り添った目線からとても温かく熱いアドバイスをいただけ、終了後のアンケートでも大変好評でした。また来年もぜひお願いしたいです。



第二部以降のグループでの話し合いも、主催した私たちの予想を遥かに上回る熱の入りようで、終了時間を告げるのが忍びないほどの盛り上がりとなりました。

今回は、土曜日開催にも関わらず校長先生、栗原先生含め5名の先生方に参加いただきました。リラックスした場所で先生から学校での様子などを聞くことができたのは、参加者にとってとても大きかったようです。心より感謝申し上げます。

また、この行事がもっと大きくなり、同じ時代に同じ年代の子を持ち富士高で過ごした仲間としての輪が広がってってくれることを望みます。また来年、ぜひ多くの方に参加いただけますようお願いいたします。

令和 7 年度 PTA バス研修旅行

PTA 富士支部 池田 ひろみ・斎藤 文子



11 月 22 日（土）天候にも恵まれ、先生方含め総勢 86 名で東京大学本郷キャンパス見学と浅草散策の旅が執り行われました。

東京大学本郷キャンパスでは、富士高卒業生の 4 名の方に二班に分かれて、キャンパス内を案内して頂きました。

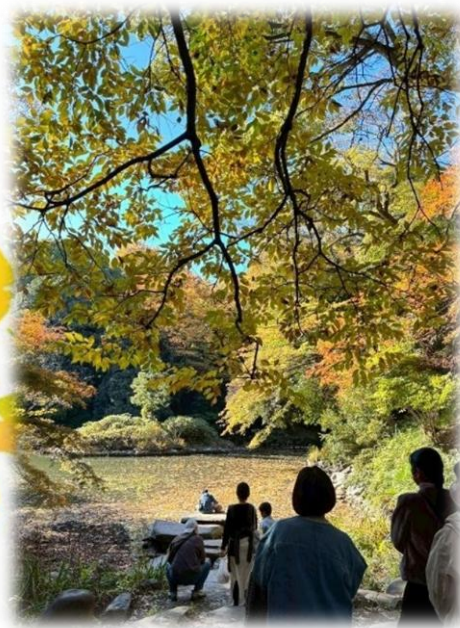
今現在、東大のシンボリック存在の「赤門」が 2021 年 2 月より耐震性の問題から閉門されており、残念ながら赤門をくぐることは出来ませんでした。

キャンパス内に入り「安田講堂」前で 2 班に分かれて記念撮影をしました

途中交通渋滞等もあり到着時間が少し遅れたため、ゆっくりとは回れませんでした。が、現役東大生の説明を聞きながらキャンパス内を散策しました。

富士高卒業生に「東大に合格するためには？」という質問をしたところ、先生の言うことをよく聞いて 3 年間とにかく一生懸命勉強したそうです。東大入学後の 2 年間は、科類ごとの指定科目や幅広い分野の教養科目を学ぶことができ、3 年生から学部・学科を選択するそうです。





本郷キャンパスの憩いの場となっている三四郎池を横目に進むと現れる大きな運動施設、御殿下記念館があり見応えがあります。季節柄、もみじやイチョウが紅葉しており、七徳堂などの歴史的建造物とマッチして、とても素敵なひと時を過ごすことができました。



次に浅草での2時間程の自由時間を各々で楽しみました。日常から離れ、御父兄の皆様と交流を深めることができ、学びある有意義なひと時を過ごすことができました。

ご協力いただきました先生方、学生の皆様、参加者の皆様に感謝申し上げます。